

ひろしま子ども平和の集いに参加して

福島県立平商業高等学校 生徒会

1 日目

・原爆ドーム見学

8月5日、私たちは初めて原爆ドームを目にしました。写真や映像で見る以上に、戦争の残酷さと迫力を感じました。原爆ドーム周辺では、核兵器廃絶運動が行われており、私たちも署名し、平和運動に参加しました。



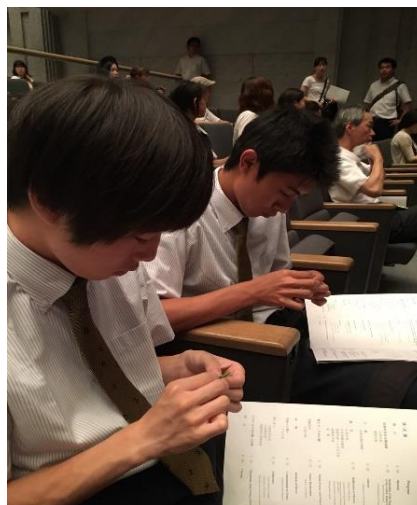
・広島平和記念資料館見学

資料館では、1945年（昭和20年）8月6日当時の出来事や使われた核兵器についての詳細が書かれあり、多くの遺品なども展示されていました。今回広島を訪れるまで、正直私たちは原爆について向き合ったことがありませんでした。しかし原爆ドームと資料館の見学を終え、核兵器の本当の恐ろしさを私たちはどのくらい知っていたのか、そしてこれからの未来、核のない世界を本当に実現できるのだろうかなど考えさせられました。

2 日目

・平和祈念式典参列

8月6日、私たちは平和記念公園内にある、国際会議場で式典に参加しました。式典が始まる前に、平和への願いを込めて会場内の人たちと一緒に折り鶴を折りました。式典では、広島市長の平和宣言や地元の小学生の平和の誓い、安倍総理大臣のあいさつがありました。それぞれ内容は違いましたが、平和に対する思いを強く感じることができました。そして、最後に広島平和の歌を一緒に歌いました。



・ひろしま子ども平和の集い

私たちは東日本大震災当時から現在までの状況と本校の生徒や先生からの平和へのメッセージを発表し、キョウチクトウ賞をいただきました。また、他校の発表には、オバマ前大統領へ手紙を送った発表や交換留学生による日本や戦争についての発表などがあり、形式や内容などは様々でしたが、他校の活動や平和についての思いを知ることができました。終了後に慰霊碑に献花し、原爆の子の像、平和の鐘を見学しました。そして、平和へのメッセージを灯籠に書き、灯籠流しにも参加しました。



3 日目

・平和プログラムの参加

8月7日、被爆体験伝承者の大松さんからお話をうかがいました。実際にお話をうかがい、資料館で展示物を見たときとはまた違う生々しさを感じました。被爆体験をした方々が高齢になり、大松さんのような方々が伝承者という形で伝えていることを知り、改めて自分の中に留めておくだけでなく、周りの人たちにも伝えていかなければならないと感じました。



今回私たちは生徒会の代表という形で参加させていただきました。改めて感じたことは、「伝える」事の大切さです。まず、私たちが今回の体験を伝え、生徒会として何ができるかを考え、話し合い、アオギリ二世の植樹などできることから始めていきたいと思います。今回、このような機会を与えていただき、ありがとうございました。